

要 望 書

令和5年度

浦和野田線建設促進期成同盟会

要 望 書

件 名 浦和野田線の4車線化と建設促進について

要 旨 野田橋の架け替えを含む浦和野田線（主要地方道越谷野田線）の4車線化と建設促進を要望する。

理 由 千葉県北西部に位置する野田市は、旧来から江戸川を挟んで、埼玉県東部と一体的な生活圈及び文化圏を形成し、千葉県と埼玉県を結ぶ浦和野田線（主要地方道越谷野田線及び国道463号）は、両県の交流・連携を図る要の道路の一つとして機能しております。

しかしながら、この浦和野田線は、両県の発展に伴う交通の増加により、慢性的な交通渋滞が発生し、都市機能や生活機能に様々な影響が生じております。

なかでも、野田橋付近においては、両県の交通が集中することにより、特に交通渋滞が激しく、早急な交通対策が求められているところです。

野田市においては、浦和野田線に接続している外郭環状道路を成す都市計画道路山崎吉春線、平成30年4月に供用開始した市道船形吉春線並びに主要地方道松戸野田線の新道区間となった旧松戸野田有料道路が、利便性の向上により交通量が増大しております。

さらに、千葉県において事業が進められております、都市計画道路今上木野崎線（川藤野田線）が完成されますと、外郭環状道路の全線が開通することとなり、市内の都市計画道路網の形成とともに、野田橋への交通集中がますます生じることとなります。

今後、これらの骨格的な道路ネットワークの要となっている野田橋付近においては、流山市の大規模な物流施設が令和5年7月にすべて開業したことから、より一層の交通量増加が見込まれ、野田橋の架け替えを含む浦和野田線の4車線化は急務であります。

一方、埼玉県においても、毎年当同盟会により埼玉県知事に対し、浦和野田線の建設促進の要望をしており、国道463号のバイパスとして既に開通している新浦和越谷線と接続する路線として、全線開通に向けた整備が進められているところです。

また、浦和野田線と交差する東埼玉道路は、平成17年3月に八潮市八條から吉川市川藤までの延長約5.7キロメートルの一般部が供用開始されており、延伸部となる春日部市水角までの延長約8.7キ

ロメートルにつきましても、平成20年度に事業化され、令和7年春頃に松伏町田島までの延長約3.8キロメートルが開通見通しとなっております。

さらに、令和2年度には、自動車専用部の八潮市八條から浦和野田線と交差する松伏町田島までの約9.5キロメートルが事業化され、用地取得や工事等が計画的に進められております。

このようなことから、地域の利便性の向上や地域経済の活性化を図るため、千葉県東葛飾北部ゾーンと埼玉県を結ぶ広域幹線道路となる野田橋を含む浦和野田線（主要地方道越谷野田線）の4車線化及び建設促進を要望するものです。

なお、令和7年春の東埼玉道路一部開通により野田橋周辺の交通には更に影響することは明白であることから、東埼玉道路の開通時期に合わせた浦和野田線での対策（いわゆる短期対策）を講じる必要があります。

対策の実施にあたっては、埼玉・千葉の両県に跨ることから両県の関係者が一堂に会し、喫緊の対応を検討する場が必要です。

以上の実情をご賢察いただき、特段のご高配を賜りたく関係地域住民を代表し要望申し上げます。

令和5年11月17日

千葉県知事様

浦和野田線建設促進期成同盟会
会長 吉川市長 中原 恵人



吉川市議会議長	松崎	誠
野田市長	鈴木	有
野田市議会議長	山口	克己
さいたま市長	清水	勇人
さいたま市議会議長	江原	大輔
松伏町長	鈴木	勝
松伏町議会議長	増田	等
越谷市長	福田	晃
越谷市議会議長	島田	玲子